

なかの 市議会だより

7 月号

2020年(令和2年)
7月20日発行
No.61

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会
●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



● 市政一般質問	陳情	事件案	予算案	条例案	● 議案等件数及び議決内容	会期	閉会	開会
19件	3件 不採択	4件 可決	2件 可決	2件 承認	7件 可決	16日間	6月19日	6月4日

6月定例会



新型コロナウイルス感染症 対策の現状と今後について

中村 秀人

質問 「信州なかの未来券」の発行による地元業者・飲食店に対するメリットは。

答弁 消費者が前払いで券を購入することで、事業者は経営継続の資金として活

用できるものと考えられる。
質問 小中学校の臨時休業措置による弊害と対応は。
答弁 学習のカリキュラムや行事の実施等に遅れが生じた。夏休みの短縮、学校行事の見直しなどで必要な時間を確保していく。
質問 学校でのデジタル・ネットワーク技術の活用は。

答弁 国のGIGAスクール構想に基づき児童・生徒1人1台のタブレット端末整備を進め、支援の必要な家庭には、モバイルルーターを貸し出すなど、臨時休業等の緊急時において、オンライン授業を行う環境を早急に実現していく。

(注)
GIGAスクール構想
児童・生徒1人1台の
端末と高速大容量ネット
ワーク環境(校内LAN
N)などを整備する構想
のこと。



中小・小規模事業者への 支援について

宇塚 千晶

質問 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者は、社会や顧客ニーズの変化に対応し成長していくことが重要であり、そのバックアップが必要である。特に通信販売やオンライン商談などの非対面型ビジネスによる事業の多角化や販路拡大、テレワーク環境の整備など、IT導入の必要性が高まっている。経産省では、中小企業生産性革命推進事業に過去最大規模の予算を計上しているが、事業者に浸透していない。国や自治体の

支援策を十分に活用できるような情報提供されているか。
答弁 公式ホームページから国や県のホームページへリンクを貼り周知している。
質問 補助金等の申請に係る書類作成が非常に煩雑である。行政書士等への申請代行費用を補助しては。
答弁 現在のところ考えていない。
質問 飲食店のテイクアウト情報をはじめ、農林水産物や食品等は、迅速かつ継続的な情報発信が必要である。市内を網羅した総合的

なウェブサイトの構築が必要と考えるがどうか。
答弁 集約したサイトの構築について研究する。

妊娠中の女性労働者の新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置について

質問 感染による母体や胎児への影響は不明であり、既存の治療薬には胎児への影響があるため使用できないものもある。在宅勤務等の希望があれば事業主に応じるよう制度改正がされたが周知の状況は。
答弁 妊婦の方へ周知した。事業主へは、公式ホームページ等により周知する。

小中学校における学びの保障について

質問 児童・生徒の家庭におけるICT環境はどうか。
答弁 インターネットを利用した家庭学習に対応できない児童・生徒は市内全体で約1割であった。
質問 臨時休業中に様々な自粛を求められる中、子ども達のネットやゲームの時間が増えた。貸与されるタブレットの設定やルールづくりはどうか。
答弁 フィルタリングや時間制限設定にも対応する。また、マナーやいじめ防止にも注意して進めたい。

質問 全国的に機器の需要が高まり、入手に時間を要する可能性がある。受験を控える中学2、3年生を優

先に貸与しては。
答弁 状況を見ながら考えていきたい。

質問 オンライン学習は不登校等の対応にも効果があった事例が多い。それらの対応としての使用はどうか。
答弁 有効だと考える。





新型コロナウイルス感染症 対策と対応について

高木 尚史

質問 2年間の利子補給と、信用保証料を市が負担する事業主への特別運転資金の融資の現状と分析はどうか。
答弁 6月10日現在32件2億9千460万円。貸付先の業種別に製造業11件、飲食業8件、卸・小売業5件、建設業4件、そのほか4件。

今後も増加すると思われる。
質問 給食センターへの食材納品の影響と対応は。
答弁 無駄にしないよう納品準備前に連絡したが、一部の食材は買い取るなどの対応をした。
質問 給食調理の業務委託の条件に、勤務条件を保障

するとしたが、休業による条件変化への対応はどうか。
答弁 稼働日数等に影響があるため、受託業者と今後協議をする予定である。
質問 国の持続化給付金の対象にならない指定管理者に、国の要件に併せて市単独で給付すべきだがどうか。
答弁 検討したい。
質問 広報・周知方法は分かりやすい表現と国・県の相談窓口をリンクして丁寧な対応をすべきでは。
答弁 積極的な広報活動を行ってきたが、今後も各部

局と連携を図りながら、臨機応変に対応をしていく。
公文書管理について
質問 情報公開条例の運用と文書取扱規程の位置づけはどうか。
答弁 相互補完的な位置づけであり、適正な文書管理と情報公開に資している。
質問 公文書について、歴史的文書や行政文書など管理の在り方について方針を明確にするべきではないか。
答弁 市民への説明責任を

果たし、公文書管理の在り方について、県など先進事例を参考に研究していく。



新型コロナウイルス感染症 対策について

永沢 清生

質問 新しい生活様式の市民への周知・徹底方法は。
答弁 対策本部で決定した方針に基づき、より多くの方へ適時に情報が届くよう、積極的な広報を行った。今後も新しい生活様式の実践を含めた感染拡大防止対策について、多様な媒体を活用して市民の皆様へ周知し、

徹底していただくよう努めていく。
質問 公共施設における感染予防対策は。
答弁 保育所は、手洗いやがいの徹底、こまめな換気の実施のほか、職員による咳エチケットの実施等により、感染予防に努めている。放課後児童クラブも、

保育所と同様のほか、屋外の利用等工夫しながら運営している。小中学校は、一人ひとりが基本的な感染対策を行うことのほか、教室の窓を開けての換気、間隔を開けた机の配置、パーティションの設置等を行っている。また、保健室では、体調不良者その他の児童・生徒の接触を避けるためのスペースの確保、図書室ではカウンターにアクリル板を設置等の工夫をしている。

災害時における避難所運営について
質問 避難所の受け入れ規模は。
答弁 市地域防災計画に各避難所の想定収容人数を載せているが、避難所に割り当てた地区の全員の収容は困難であり、他地区の避難所への避難も想定される。閉校した3小学校の教室棟の活用については、利活用方針が決定するまでの間の活用を検討する。
質問 避難行動要支援者の避難場所を最初から福祉避

難所とできないか。
答弁 予定していない。





市長の政治姿勢について

高野 良之

質問 市長は二元代表制をどう考えているか。

答弁 地方自治体など執行機関の長と議員を直接選挙で選ぶ制度と認識している。

質問 人権擁護委員の推薦で議会の議決をなぜ尊重しなかったのか。

答弁 1期目の活動実績を踏まえ「不適任」の意見書を添えて法務大臣に推薦した。

質問 二元代表制の中では、市長に対して不信任決議に値すると思われるがどうか。

なつたことは重く受け止め苦慮の判断だつた。
質問 区長会、住民の意見を重く見たというが、議会はいらないということか。
答弁 議会への思いはいささかも変わらない。
 一切の責任は私が負うことを自覚し、今回の措置を取つた。

信州なかの未来券について

質問 「信州なかの未来券」

の販売目的と販売方法は。
答弁 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者の経済回復の後押しをするものとし、販売方法は取扱店が直接販売する。
質問 プレミアム付「元気」がでる商品券」の販売方法について調査・検討したのか。
答弁 当時の販売方法について、検証の結果、問題点としては、一人当たり購入限度額の設定および世帯人数分の購入が可能であつた



新型コロナウイルス感染症対策について

中村 明文

質問 公共施設利用で、どのような声が寄せられたか。

答弁 市民から賛否のご意見をいただいた。引き続き施設の管理を適切に行う。

質問 特別給付金給付事業の進捗状況は。

答弁 6月11日現在、申請は1万6千96件で約93%。給付件数は1万5千509件で給付額は40億1千440万円、

給付率は約91%である。

質問 事業者等への財政支援策は。

答弁 市単独の融資制度、信州なかの未来券発行事業への補助を行う。国・県の支援策を注視していきたい。

質問 法人市民税の今後の見直しは。

答弁 減収が見込まれる。
質問 国からの財源充当の

見直しは。
答弁 国は、多様なメニューを用意している。活用していきたい。
災害時の対応について

質問 避難所の3密状態解消への対策は。

答弁 避難所を増やし、世帯間の間隔を広くしたい。

質問 災害時における職員体制は。

答弁 令和元年東日本台風では、避難所に職員が交代で従事したが、通常業務に大きな支障は生じなかつた。

質問 災害時における会計

年度任用職員の体制は。
答弁 非常参集とする体制には、会計年度任用職員は含めていない。通常の勤務時間内で災害対応業務に従事するものとしている。
質問 国・県からの補助金地方交付税等の財源充当の現状は。
答弁 国庫支出金は5千508万176円、県支出金は2千508万176円、特別地方交付税が5億7千45万5千円である。

市議会を傍聴しませんか

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。



手話通訳申請
 ながの電子申請サービス

傍聴等に関するお問い合わせ先
 電話 (22) 2 1 1 1 (内線316) FAX (22) 5 9 2 2
 Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



**新型コロナウイルス感染症
対策と市民生活への影響に
ついて**

阿部 光則

質問 新型コロナウイルスへの対策と、市民生活への影響をどう把握しているか。その把握方法はどうか。

答弁 外出自粛や行動変容をお願いする中、市民生活への影響を詳細に把握することは困難であるが、連日の報道から様々な影響が生じていると認識している。

質問 事業者等の影響把握は、訪問等を行い聞き取りによる調査等を行っているか。

答弁 実施していない。

質問 市税等の軽減策は。

答弁 中小事業者等の償却資産や一定の家屋に係る令和3年度分の固定資産税および都市計画税の課税標準額が、事業収入の減少幅で、ゼロまたは2分の1に軽減される。

質問 国民健康保険税はどうか。税収減への対応は。

答弁 一定以上の収入減少世帯には、令和元年度および令和2年度分の課税額のうち、令和2年2月1日から令和3年3月31日までの納期限のものを減免する。

減収分は、国費で補てんされる。

地域医療について

質問 新型コロナウイルス感染症により地域の医療機関へ大きな影響が出ているという報道がされている。

第2波、第3波も踏まえた支援策の検討はどうか。

答弁 市内医療機関への影響の細部は把握していない。国民健康保険等への診療報酬の請求状況から、外来診療数が前年より減少傾向であることは把握している。

支援は、マスクを市の備蓄分から医療機関に配布した。

質問 今後の医療崩壊を避けるための支援はどうか。

答弁 地域の医療提供体制

を維持するための支援策は、国や県の支援策の動向を注視しながら検討していく。

地方創生臨時交付金について

質問 本市への地方創生臨時交付金の配分額と、その使い道をどのような意図を持って使っていくのか。

答弁 国の第1次補正分の交付限度額は、1億7千8百万円である。使い道は感染拡大防止、地域経済や市民生活の支援の施策となる。

質問 国の第2次補正分では、第1次の倍額となっている。本市の交付限度額は、第1次の倍額となるのか。

答弁 まだ、未定である。

質問 第1次分より増額が



市長の政治姿勢について

青木 正道

質問 いよいよ11月22日で池田市長の2期目の任期が満了となるが、未だ表明がなされていない。昨年10月

の台風第19号に続き、現在は新型コロナウイルスの甚大な被害が発生している。こんな時期であればこそ、

今までの経験を踏まえ、出馬表明され、今後のコロナ禍などに対しても、リーダーシップを発揮されるのが良いと考えるが、3期目の表明はいつか。

答弁 現在、新型コロナウイルス対策や、令和元年東日本台風被害からの復興に力を注いでおり、しかるべき時に表明したいと考えて

いる。

質問 公約はあるか。

答弁 公約については、進退をはっきりさせた段階で市民の皆様へお示しするものと考えている。

議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。

インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでも本会議の様態を視聴することができます。是非、ご覧ください。

視聴方法 中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス

中野市議会ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

配信している議会中継 平成30年5月市議会臨時会分～

配信時期 定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。

予想されるが、有効に活用し支援できる施策と臨時議会も視野に入れた対応をすべきと考えるが。

答弁 国の第2次補正分でも有効活用できるように、現在検討している。臨時議会もお願いする方向である。



新型コロナウイルス関連 の経済対策について

松樹 純子

質問 「信州なかの未来券」の登録販売業者数は。

答弁 238事業者である。

質問 反響はどうか。

答弁 購入者からは、お店の経営継続への応援メッセージが寄せられた一方、未来券シートの扱いが不便との意見もあった。販売業者からは、消費者の購買意欲が高まり、新規顧客取り込みにもつながるなど意欲的な意見があった。

質問 困難を抱えながらも、未来券に登録していない事業者等への今後の支援策は。

回答 国・県の支援策や事業者を取り巻く状況を注視しながら、関係機関と調整していく。

質問 特別定額給付金の給付実績は。

回答 6月11日までの給付率は、約91%である。

質問 実務上困難だったことは。

回答 迅速な給付を行うため、様々な事務を短期間のうちに実施しなければならなかった。土日返上で申請書の発送準備を進め、郵送による受付開始以降は、全庁職員の協力体制を組んで事務を進めてきた。市役所一階に特設窓口を設置し、個別対応も実施した。

質問 全市民への給付に向けての課題は。

回答 未申請の世帯への周知に努めるとともに、自分で申請が困難な方については、地域の民生児童委員と連携して支援を行うほか、職員が個別に必要な対応をするなど、きめ細かな支援を行っていく。

監査及び内部統制について

質問 公表された「中野市監査基準」の策定経緯は。

回答 地方自治法の改正により、監査基準は各地方公共団体の監査委員が定め、公表することとされた。「総務大臣が示す指針」を基に策定し、本年4月1日、市の関係機関へ通知した。

質問 監査基準策定により、昨年度までと変わることは。

回答 本市における監査等を行うに当たって必要な基本原則を規定した監査基準であり、今後はこれに従い、より一層、適切かつ有効な監査等の実施に努めていく。

質問 外部監査、内部統制についての市長の認識と、導入に向けての考えは。

回答 外部監査、内部統制は、行政サービスの適正で効率的な執行のチェック機能として有効な手段と認識している。地方自治法では努力義務とされており、今後の導入については、他市の状況等を参考にしながら研究していく。

その他の質問
・業務の民間委託について

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された議案7件について、6月16日に審査しました。

主なものとして、中野市市税条例の一部を改正する条例案は、新型コロナウイルス感染症対策として、中小企業に対する固定資産税の軽減、軽自動車税の環境

性能割の臨時的軽減の延長、市税の徴収猶予制度の特例等の措置の改正を行うもので、原案どおり可決されました。

令和2年度中野市一般会計補正予算(第5号)について、消費税では、感染症対策の備品購入費で1千233

万7千円、教育費では、小中学校の学習者用コンピュータ購入費等で2億7千228万7千円の増額であり、原案どおり可決されました。

令和2年度中野市一般会計補正予算(第6号)について、総務費では、防災用備品購入費等で3千604万2

千円、教育費では、小中学校ICT活用教育のための情報通信料等で2千488万4千円の増額であり、原案どおり可決されました。

そのほかの条例案2件、予算案2件については、いずれも原案どおり承認および可決されました。



民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された議案9件、陳情1件について、6月16日に審査しました。

主なものとして、令和2年度中野市一般会計補正予算（第5号）について、総務費では、公会堂建設事業補助金67万5千円の増額、民生費では、児童手当シス

テム改修委託料等102万円の増額、衛生費では、令和元年東日本台風災害関連の災害廃棄物仮置き場復旧委託料等1千309万円の増額で、原案どおり可決されました。医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情については、医療制度として、都会と田舎の医師の

交流や、開業医と総合病院の医師の給与差を保険制度で見直すなど、総合的に見直すべき。医師数の絶対的不足、診療科間の偏在等も極めて顕著であり、地域医療崩壊の危機的状況にある中、しっかりと地域に医師が行きわたり、地域住民が安心して暮らせるために医

師を増やす必要があるなどの意見があり、採決の結果不採択となりました。

そのほかの条例案4件、予算案3件、事件案1件については、いずれも原案どおり承認および可決されました。

■陳情

◎「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

陳情者 中高地労働組合連合会
議長 松村 卓広

◎医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情

陳情者 長野県医療労働組合連合会
執行委員長 小林 吟子

◎自家増殖を原則禁止とする種苗法改正案の慎重審議を求める陳情

陳情者 中野市農民組合
組合長 武田 重治
外1団体

経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された予算案4件、事件案3件および陳情2件について、6月16日に審査しました。

主なものとして、令和2年度中野市一般会計補正予算（第3号）の専決処分の報告について、商工費では、新型コロナウイルス拡大防止協力等市負担金2千70万円の増額。

令和2年度中野市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について、商工費では、信州なかの未来

券発行事業補助金5千230万円の増額で、それぞれ原案どおり承認されました。

令和2年度中野市一般会計補正予算（第5号）について、農林水産業費では、県の地域発元気づくり支援金を活用した農道整備事業費455万3千円、かんがい排水事業費720万4千円の増額などで、原案どおり可決されました。

自家増殖を原則禁止とする種苗法改正案の慎重審議を求める陳情について、今

国会においても種苗法の改正法案については先送りとなっており、ここで議論することは時期尚早である。

育成者の権利が知的財産としてしっかりと守られることは大変いいことだと思う。許諾制になることで、全ての農家が潰れてしまうという表現には疑問を抱く。今までの法律で育成者の保護はできていると考えるため、法改正に慎重な審議を求め

る。過剰な心配をされているかもしれないが、改正法

案の慎重審議を求めるなどの意見があり、採決の結果、不採択となりました。

また、「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情については、採決の結果、不採択となりました。

そのほかの予算案1件、事件案3件については、いずれも原案どおり可決されました。



6月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	令和2年度中野市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の報告について	承認	議案第10号	令和2年度中野市一般会計補正予算(第5号)	可決
議案第2号	令和2年度中野市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について	承認	議案第11号	(仮称)中野市新平岡保育園建設工事変更請負契約の締結について	可決
議案第3号	中野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第12号	財産(除雪ドーザ)の取得について	可決
議案第4号	中野市市税条例の一部を改正する条例案	可決	議案第13号	市道路線の認定について	可決
議案第5号	中野市都市計画税条例の一部を改正する条例案	可決	議案第14号	令和2年度中野市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第6号	中野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第15号	台風第19号豪雨災害復旧事業農地・用排水路復旧工事変更請負契約の締結について	可決
議案第7号	中野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	陳情第2号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択
議案第8号	中野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	陳情第3号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情	不採択
議案第9号	中野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	陳情第4号	自家増殖を原則禁止とする種苗法改正案の慎重審議を求める陳情	不採択

5月臨時会 結果

○会期 5月1日 1日間

○議案件数および議決結果
 条例案 4件 承認
 予算案 2件 可決
 事件案 2件 承認
 人事案 2件 可決

2件 可決
 2件 可決
 2件 承認
 2件 可決
 4件 可決
 3件 許可
 5件 選挙
 2件 選任
 2件 可決

表紙の写真

バラが満開の一本木公園です。手入れが行き届いた3.4haの公園で、850種3千株のバラが絢爛に咲き誇り、バラの香りに満たされ、また、四季を彩る草花を楽しむことができます。毎年5月下旬から6月中旬にかけて「信州なかのバラまつり」が開催され、多くの方が来園されます。本年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、バラまつりが中止、公園閉鎖となり、満開のバラを楽しむことができませんでしたが、毎年のように満開を迎えていました。

第5代後期 議会だより 編集委員名簿

委員長	副委員長	委員
青木 正道	阿部 光則	松樹 純子
宮島 包義	中村 明文	宇塚 千晶
保科 政次	宇野 孝幸	若澤 孝幸
永沢 清生	高野 良之	

令和2年9月中野市議会 定例会会期日程(予定)

- 開会日 9月1日(火曜日)
- 市政一般質問 9月8日(火曜日)
- 委員会 9月9日(水曜日)
- 9月10日(木曜日)
- 9月11日(金曜日)
- 9月14日(月曜日)
- 9月15日(火曜日)
- 9月16日(水曜日)
- 9月17日(木曜日)
- 閉会日 9月24日(木曜日)
- 請願・陳情について 9月定例会における請願書および陳情書の受け付けは、9月3日(木曜日)の午後1時までです。 ※他の行事等により日程を変更する場合があります。

あとがき

5月から、議会構成も新しい顔ぶれとなりスタートいたしました。一本木公園では、満開のバラが全国から多くの方をお招きするはずでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためバラまつりは中止となり、大変残念です。また、3月頃から、学校の臨時休業、3密の恐れがある集会や中野シンシオンまつり、8月の中野市民音楽祭など、様々な行事が中止となり、生活が大きく変わってしまいました。これからは新しい生活様式がスタンダードとなり、テレワークなど、想像もつかなかったことが現実となってきました。我々中野市議会は、市民に寄り添える議会となるように、市民の皆様と議会を繋ぐ議会だよりで、議会情報を分かりやすくお伝えするよう努めて参りますので、今後もよろしくお願いたします。